

# 2014年3月期第3四半期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社 マネーパートナーズグループ

本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2014年2月4日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2014年2月4日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



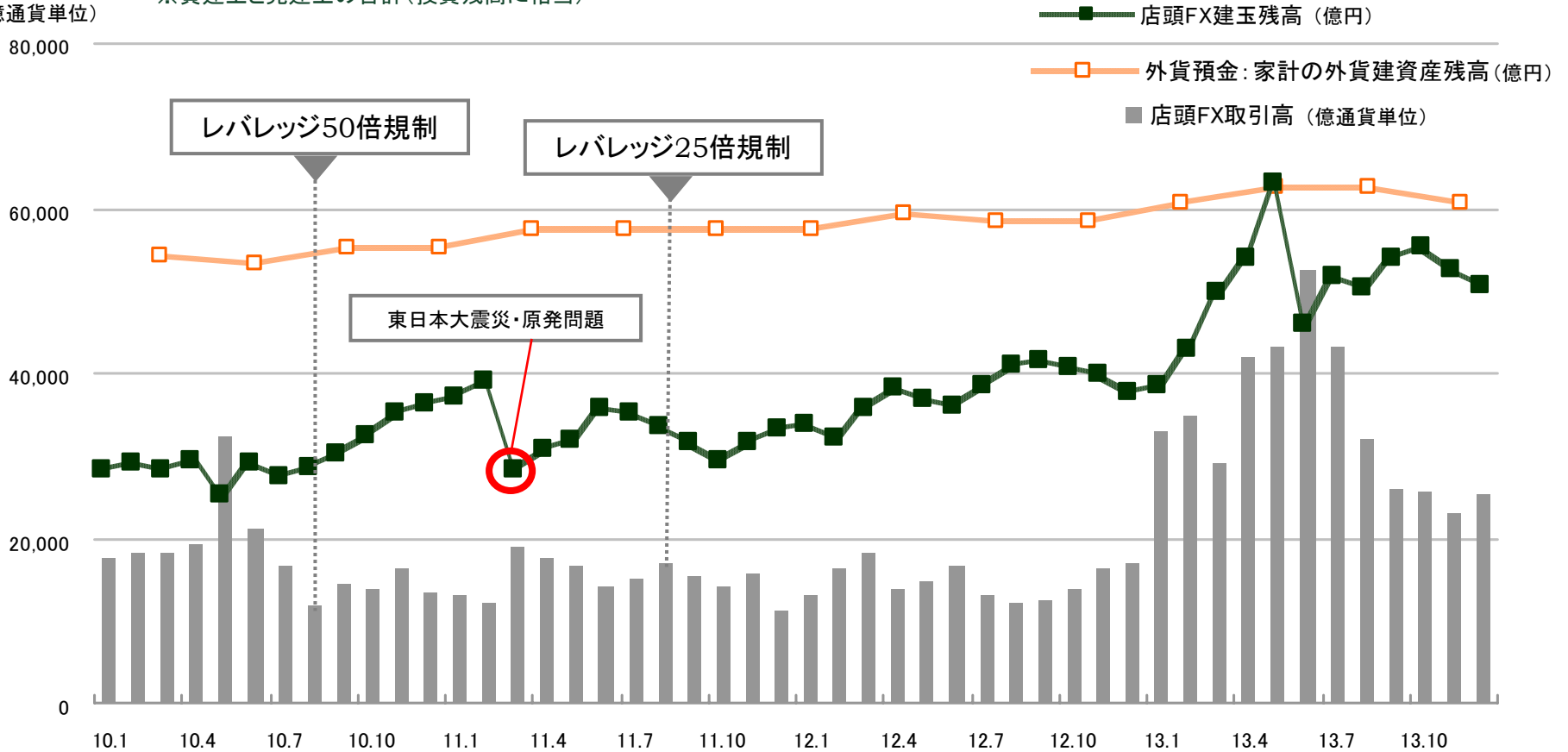
# FX市場について

Money Partners Group

## 店頭FX建玉残高(※)及び店頭FX取引高の推移

※買建玉と売建玉の合計(投資残高に相当)

(億円/億通貨単位)



※日本銀行統計時系列統計データ及び金先協会統計資料より当社作成

2度にわたるレバレッジ規制、東日本大震災・原発問題による為替相場の急変を越え、FX建玉残高は順調に増加、外貨預金残高に迫る規模まで拡大。



# 顧客向けサービスの充実

Money Partners Group

◆オリコンCSランキングで、「初心者」など4項目にて1位獲得



## 2014年度 オリコン顧客満足度ランキング FX部門4項目で第1位!

初心者

ツールの豊富さ

サポート体制

HPのわかりやすさ

### 【調査結果(抜粋)】

調査項目	順位
初心者	1位
サポート体制の充実	1位
分析ツールなどの情報ツールの豊富さ	1位
HPのわかりやすさ	1位
システムやネット接続の安定性	2位
...etc	-

### 【ランキングの概要】

- オリコンCSランキングとは  
実際の利用経験者(現在利用中、もしくは利用経験者)を対象にして行った、顧客満足度調査の結果に基づいたランキング
- 調査期間・更新日  
8月23日～8月25日の3日間で調査し、12月1日更新
- 調査対象者  
対象者数 : 3,518  
性別 : 指定なし  
年齢 : 20歳以上  
地域 : 全国  
条件 : 過去2年以内にインターネットを利用してFX取引を行ったことがある人

第三者機関の調査においてもマネパの評価は高く、“高品質のサービス”を実証



# 約定力について



マネーパートナーズは、すべらない!

5年連続「約定力」No.1

(株)矢野経済研究所実施の「FXサービスパフォーマンステスト」において

株式会社矢野経済研究所が実施した主要FX会社6社における「FXサービスパフォーマンステスト」において、5年連続「約定力※」No.1を獲得!

※約定力とはお客様の意図するタイミング、価格での取引を実現する力。

当社グループでは従来より「約定力」を重視し、公平かつ価格の透明性の高いサービスを提供し続けています。



## ■ 金融庁「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」への対応状況

### FX業者向け監督指針改正のポイント

顧客に有利なスリッページは成立させず顧客に不利なスリッページのみ成立させるなど、非対称な取扱いをする行為が規制(平成25年8月9日より適用)



当社グループは従来からスリッページ・約定拒否のない、「ディーラブルプライス」を提示しており、取引の透明性確保について取組み済



- I . 2014年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- II . 2014年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況
- III . 今後の目指すべき方向性
- IV . 当社の経営目標及び株主還元について

# I .2014年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





# 2014年3月期第3四半期 決算概況と影響ファクター

	2014/3期 2Q(会計期間) 【2013/7 ~ 2013/9】	2014/3期 3Q(会計期間) 【2013/10 ~ 2013/12】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	3,707億通貨単位	2,928億通貨単位	△21.0%
営業収益	1,179百万円	1,142百万円	△3.2%
経常利益	197百万円	162百万円	△17.3%

	2013/3期 3Q(累計期間) 【2012/4 ~ 2012/12】	2014/3期 3Q(累計期間) 【2013/4 ~ 2013/12】	前年同期間 対比増減
外国為替取引高	8,126億通貨単位	12,584億通貨単位	54.9%
営業収益	4,381百万円	3,891百万円	△11.2%
経常利益	87百万円	787百万円	794.7%

## 【第3四半期の損益影響ファクター】

### 前四半期比

取引高



営業収益



経常利益



### 前年同期間比

取引高



営業収益



経常利益



- ・ 取引高は前四半期比では減少だが、前年同期間比では増加
- ・ 営業収益は前四半期比取引高当たり収益性の向上により微減にとどまる
- ・ 経常利益は前四半期比では営業収益減少により減益、前年同期間比では販管費の減少により大幅増益





## 2014年3月期第3四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 方向感に乏しい相場の影響や稼動を重視した口座獲得に取り組んだ結果、口座数の増加ペースが鈍化。預り証拠金は前四半期比1.3%増の43,797百万円に。

総口座数	230,717口座	2014/3期2Q末比	2.1%増
預り証拠金	43,797百万円	2014/3期2Q末比	1.3%増

- ② 第3四半期(2013/10-12)の外国為替取引高は、ボラティリティの影響だけでなく、クリスマス休暇等の季節的要因の影響もあり、前四半期比21.0%減に。

10-12月取引高	2,928億通貨単位	2013/7-9月比	21.0%減
-----------	------------	------------	--------

※取引高にはCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は外国為替取引高の大幅減少があったものの、前四半期に比べ取引高当たり収益性が向上したことにより前四半期比3.2%減の1,142百万円(累計期間ベースでは前年同期間比11.2%減の3,891百万円)に、経常利益は前四半期比17.3%減の162百万円(累計期間ベースでは前年同期間比794.7%増の787百万円)に。

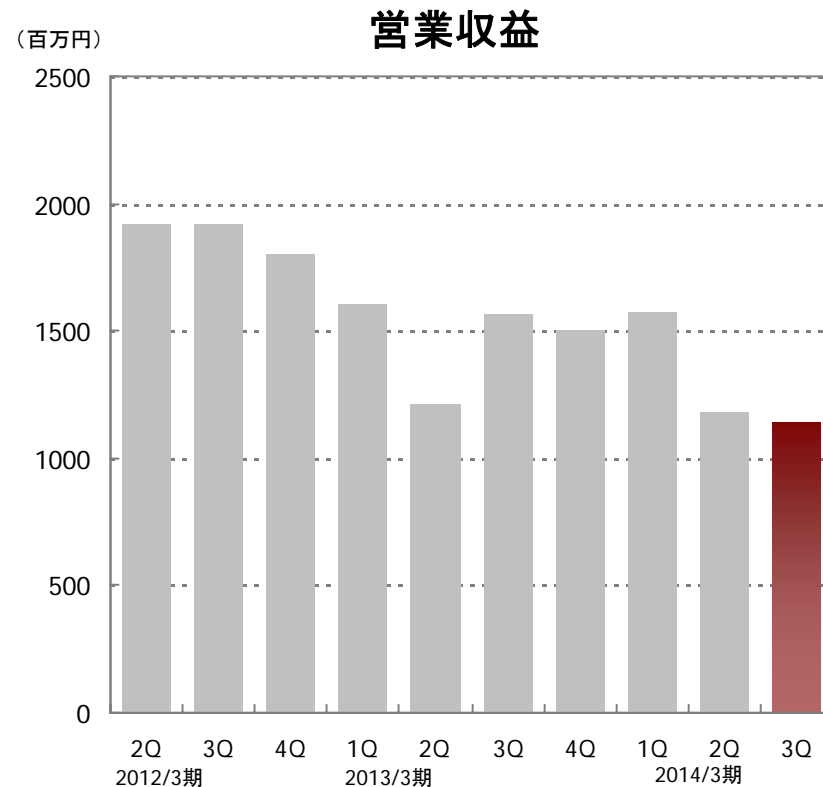
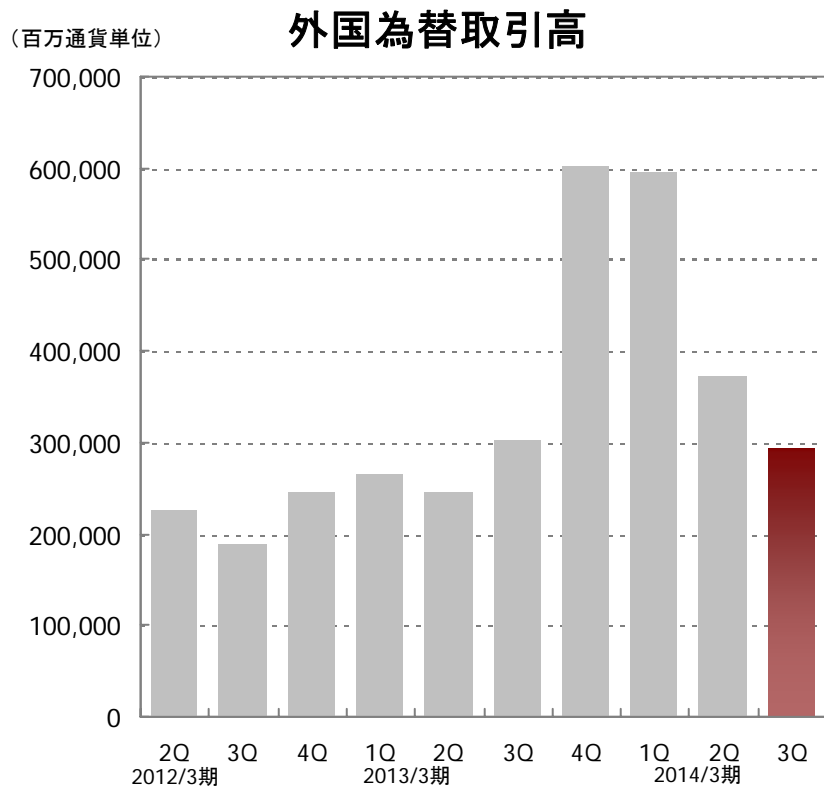
- ④ 四半期純利益は前四半期比19.2%減の96百万円、累計期間ベースでは前年同期間比491百万円増の463百万円となった。



# 事業数値の動向

Money Partners Group

## ■ 外国為替取引高及び営業収益の推移



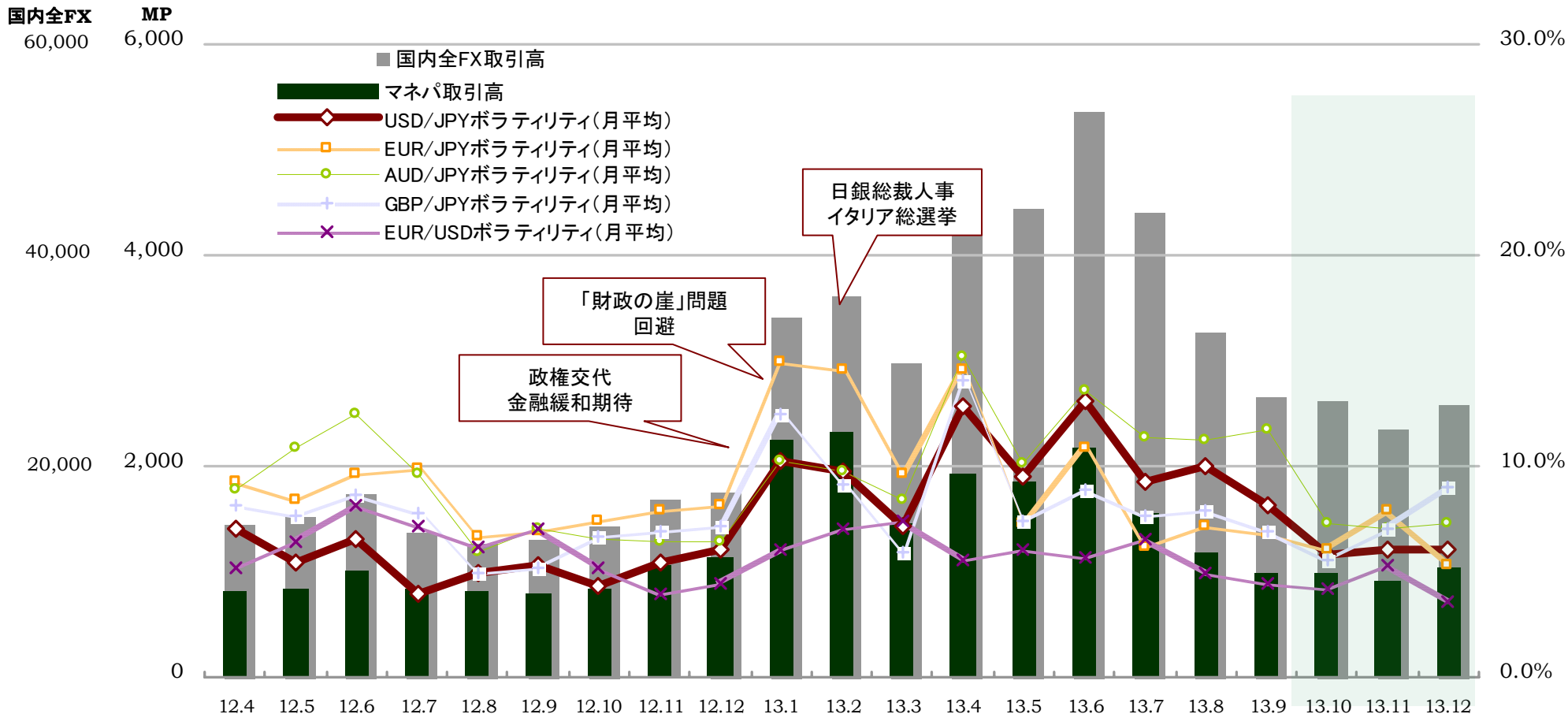
(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	12/3期 2Q	12/3期 3Q	12/3期 4Q	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q
外国為替取引高	225,346	188,609	244,236	264,466	245,265	302,966	602,634	594,850	370,796	292,823
営業収益	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	1,504	1,569	1,179	1,142

※ 外国為替取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

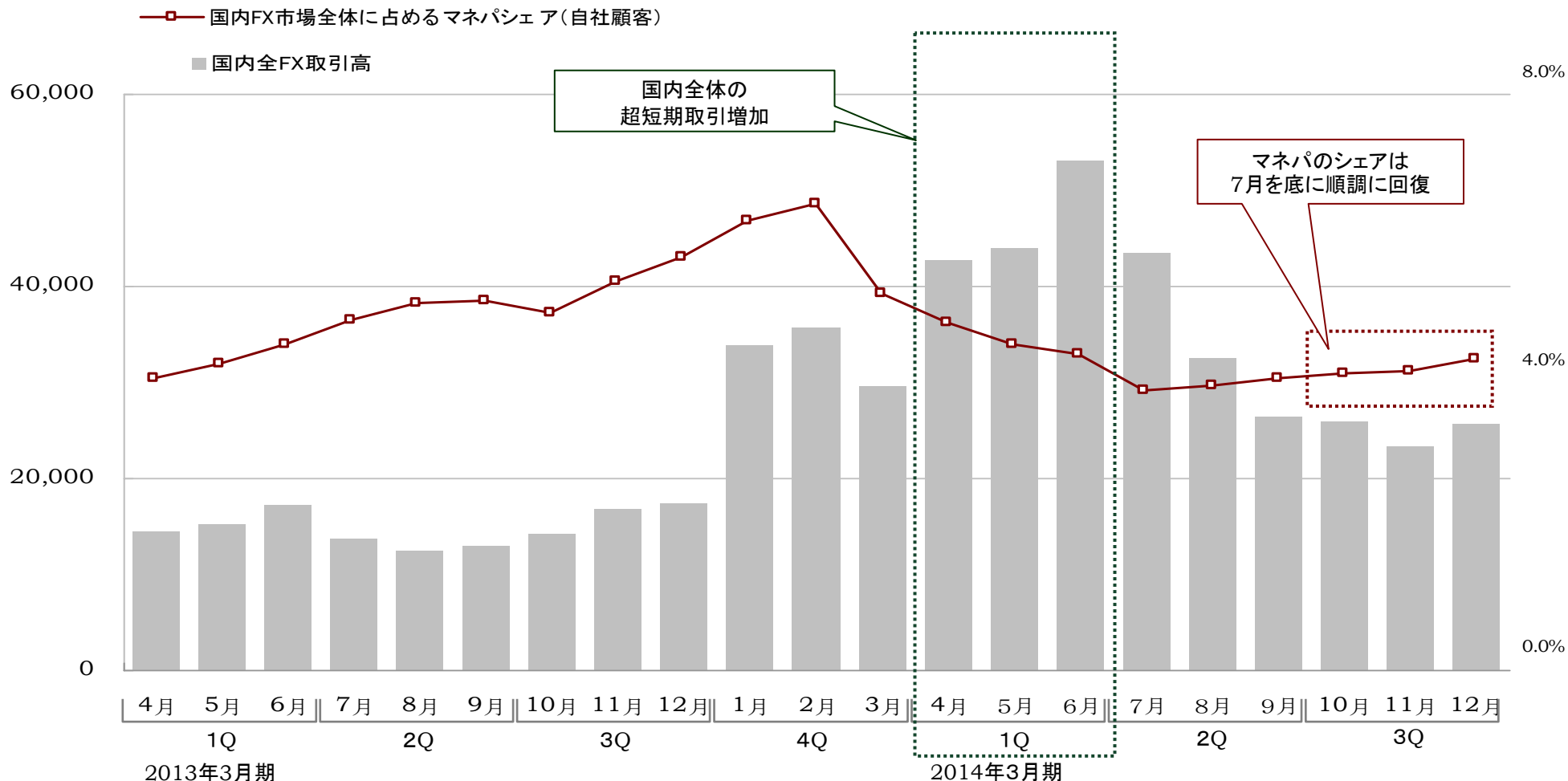
## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移

(億通貨単位)



主要通貨ペアの米ドル/円は、2Qに続き10月一杯まで持ち合い相場が継続した後、ドル高円安に。このためボラティリティは、10月を底に右肩下がり推移し、3Qは総じて低調な展開となる。

## 国内全FX取引高と当社シェアの推移



低調な相場状況を背景に業界全体の取引高が減少傾向となる中、当社取引高シェアは回復。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2012/3期	2013/3期				2014/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,799	1,604	1,213	1,563	1,504	1,569	1,179	<b>1,142</b>	△3.2%
受入手数料	3	2	1	6	17	3	2	<b>2</b>	21.4%
トレーディング損益	1,786	1,592	1,202	1,548	1,473	1,563	1,171	<b>1,136</b>	△3.0%
金融収益	4	4	4	4	3	2	3	<b>3</b>	△7.7%
その他の売上高	5	4	4	4	9	0	2	<b>0</b>	△89.5%
金融費用	32	21	22	22	21	16	16	<b>16</b>	△3.0%
売上原価	3	2	2	2	5	0	0	<b>0</b>	△25.5%
純営業収益	1,763	1,579	1,188	1,538	1,476	1,552	1,163	<b>1,125</b>	△3.2%
販売費・一般管理費	1,633	1,527	1,332	1,338	1,260	1,112	973	<b>964</b>	△1.0%
営業利益	129	52	△143	199	216	440	189	<b>161</b>	△14.7%
経常利益	123	29	△142	200	224	427	197	<b>162</b>	△17.3%
税金等調整前四半期純利益	117	29	△239	198	202	412	194	<b>157</b>	△19.0%
四半期純利益	66	16	△167	122	124	247	119	<b>96</b>	△19.2%
営業収益経常利益率	6.9%	1.9%	△11.8%	12.8%	14.9%	27.2%	16.7%	<b>14.3%</b>	

ボラティリティの低迷等の影響により、外国為替取引高が大幅に減少したが、取引高当たり収益性の向上により、営業収益は前四半期比3.2%の減少にとどまる。一方、経常利益は、販管費の減少があったものの営業収益の減少を賄えず前四半期比17.3%の減少に。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位: 百万円

	2012/3期	2013/3期				2014/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	767	634	481	439	400	259	224	<b>240</b>	7.2%
人件費	261	256	242	235	244	257	234	<b>231</b>	△1.5%
不動産関係費	206	219	216	218	216	154	153	<b>146</b>	△4.4%
事務費	236	247	221	280	233	283	226	<b>224</b>	△0.7%
減価償却費	135	130	144	141	143	122	111	<b>99</b>	△10.5%
租税公課	12	11	13	10	12	15	13	<b>13</b>	2.0%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	13	26	11	12	9	19	10	<b>8</b>	△21.2%
販売費・一般管理費合計	1,633	1,527	1,332	1,338	1,260	1,112	973	<b>964</b>	△1.0%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	125	124	130	58	72	79	83	<b>112</b>	35.0%
システム関連費用(※2)	359	380	357	408	362	349	285	<b>268</b>	△6.2%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

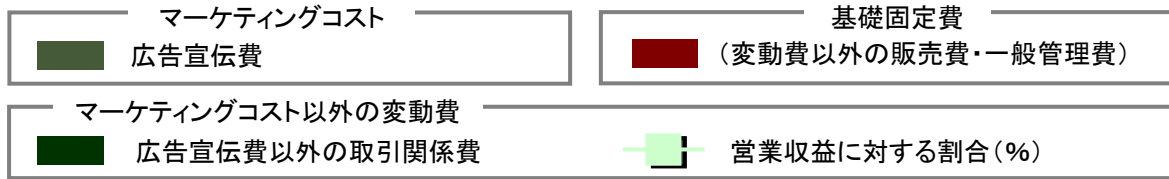
外国為替取引高の減少に伴い、取引関係費の主要な費目である支払手数料が減少。一方で、認知度向上をはじめとする活動のため広告宣伝費を増加させたため、取引関係費トータルでは前四半期比16百万円増の240百万円に。



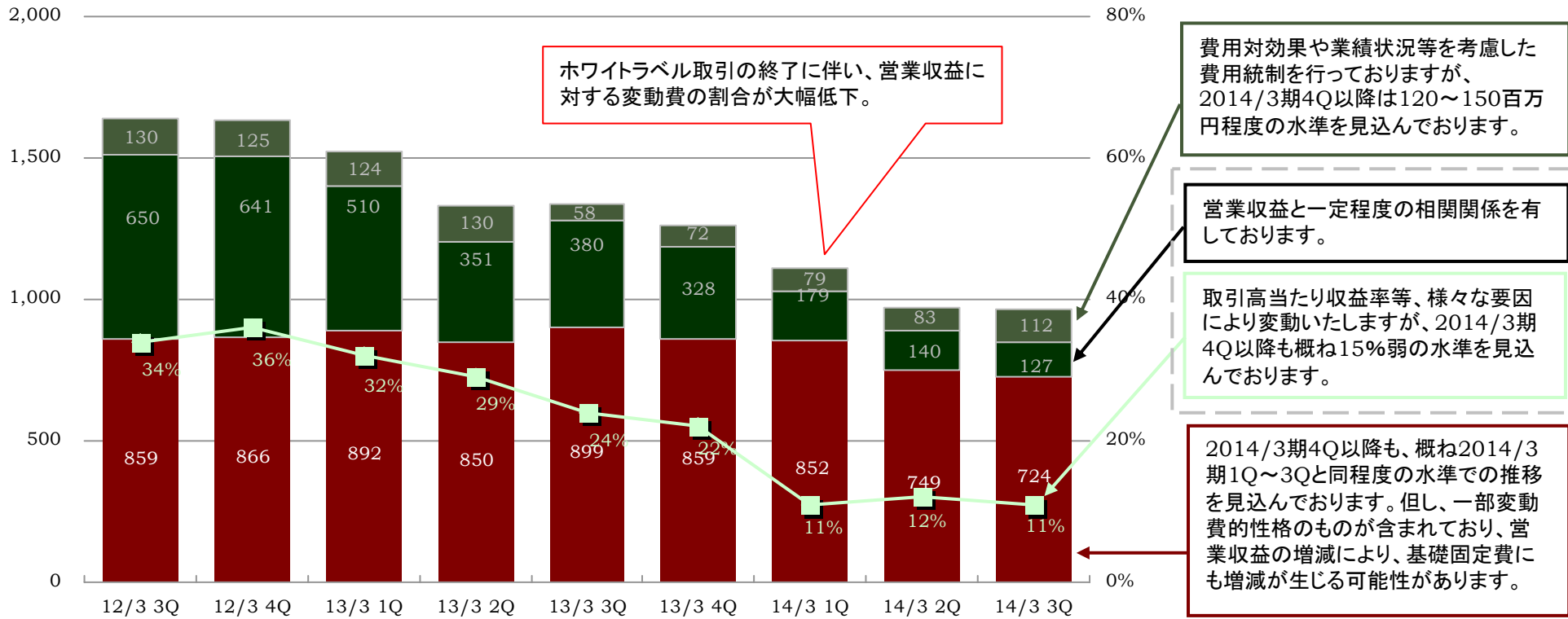
# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

## ■ 主要な固定費・変動費の推移

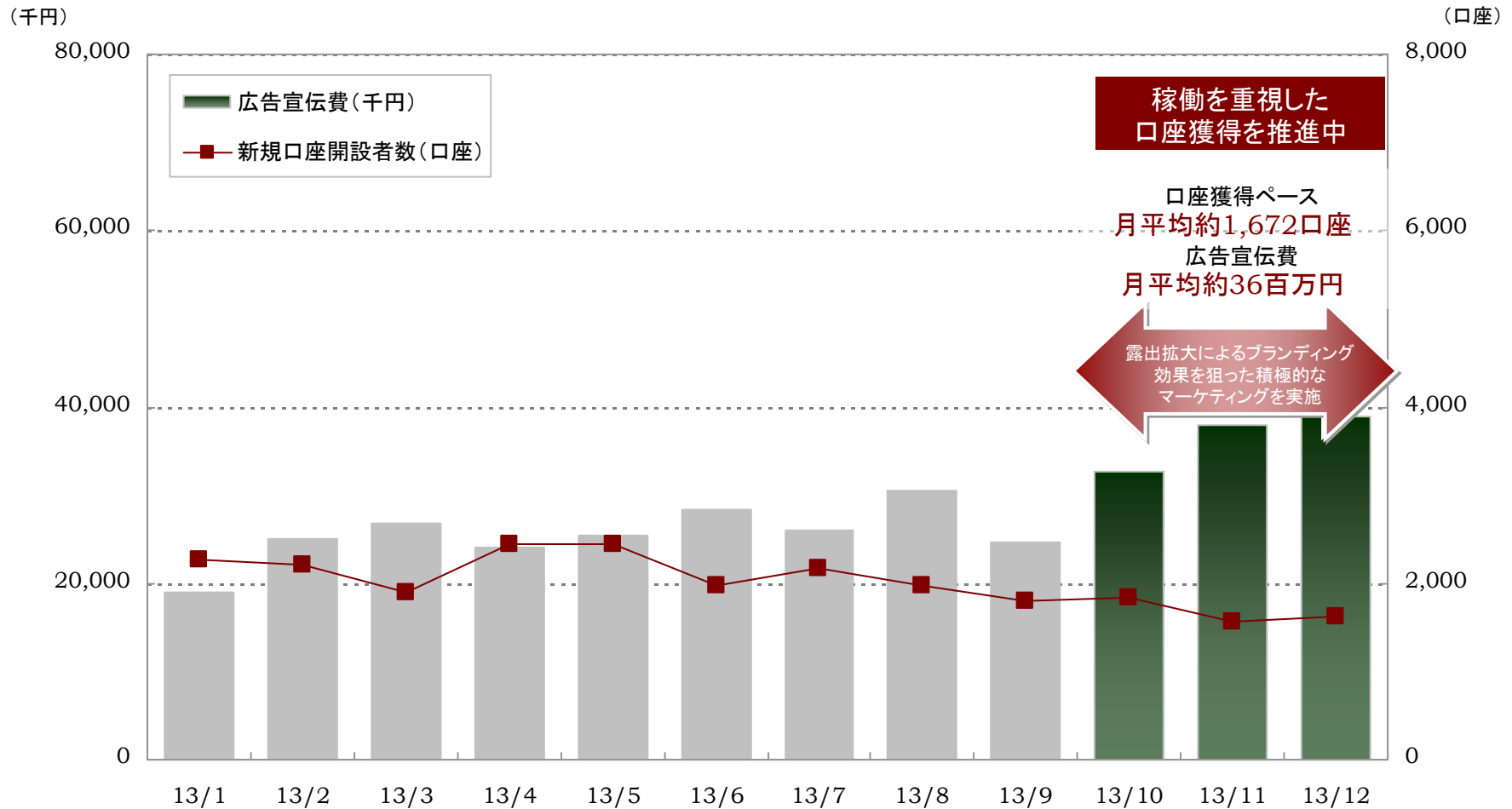


コスト  
(百万円)



ホワイトラベル取引が前期末で終了したことにより、営業収益に対する変動費の割合及び基礎固定費はともに低位安定。

## ■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



認知度向上のため露出の拡大等を積極的に実施したこと等により広告宣伝費が35%増加。





# 月次業績指標推移

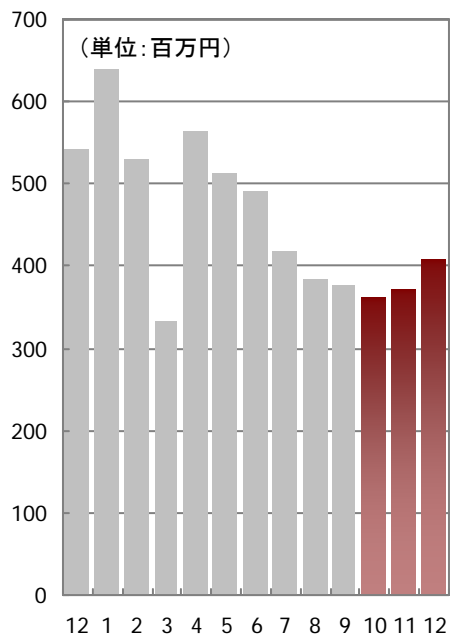
Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

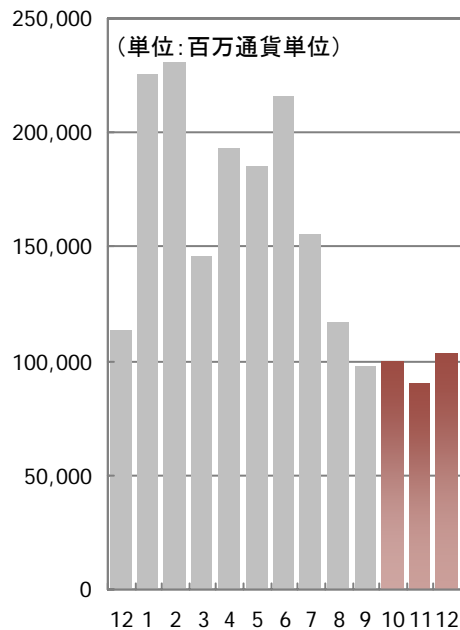
	2012年	2013年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	542	639	531	333	565	514	490	417	385	376	361	372	408
外国為替取引高 (百万通貨単位)	113,982	225,359	231,130	146,144	193,096	185,542	216,211	155,483	117,466	97,846	99,448	90,408	102,966
顧客口座数(口座)	207,859	210,010	212,103	213,850	216,178	218,537	220,361	222,432	224,281	225,986	227,731	229,204	230,717
顧客預り証拠金(百万円)	41,929	42,139	40,774	39,321	41,940	42,801	42,327	42,886	43,202	43,229	43,755	44,179	43,797

※営業収益、取引高は、ホワイラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

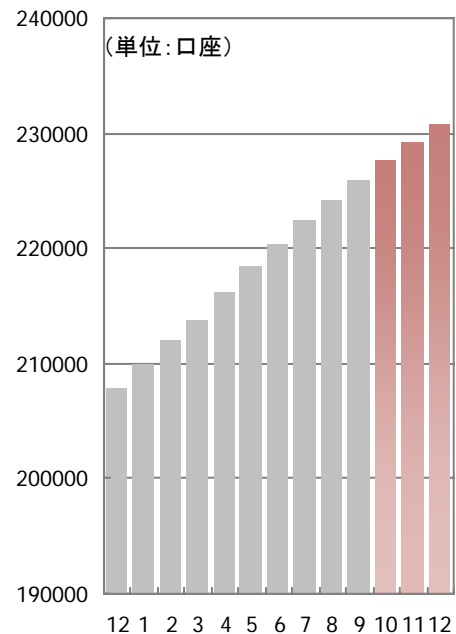
■ 営業収益



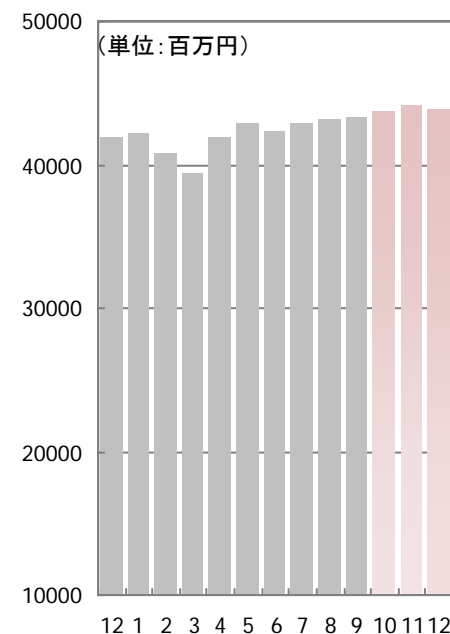
■ 外国為替取引高



■ 顧客口座数



■ 顧客預り証拠金



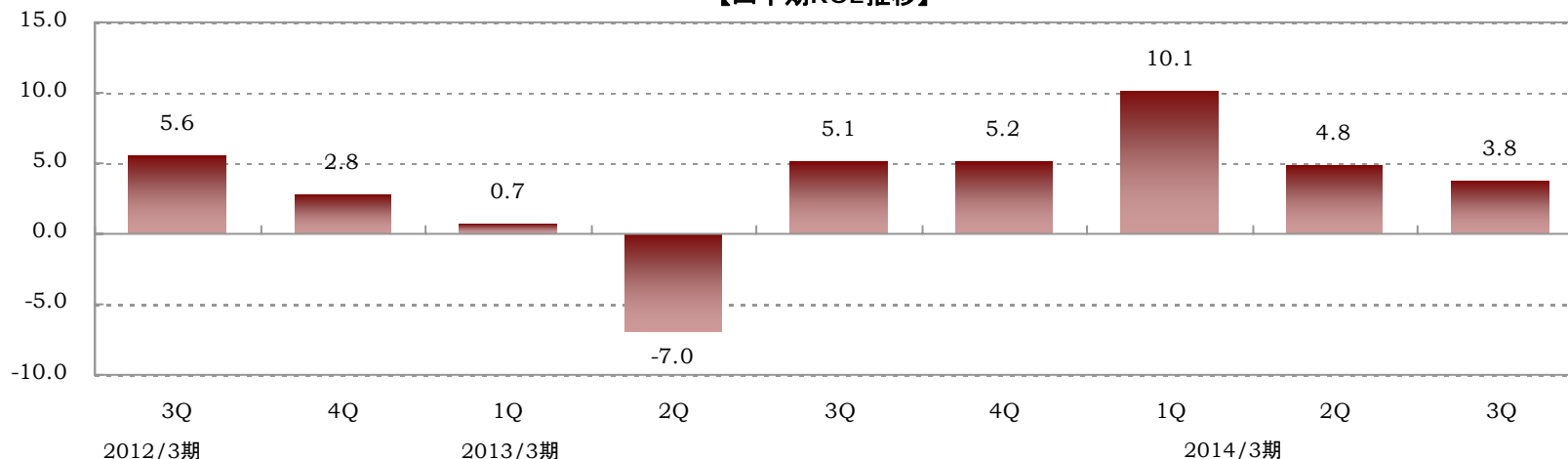


# 主要経営指標推移

Money Partners Group

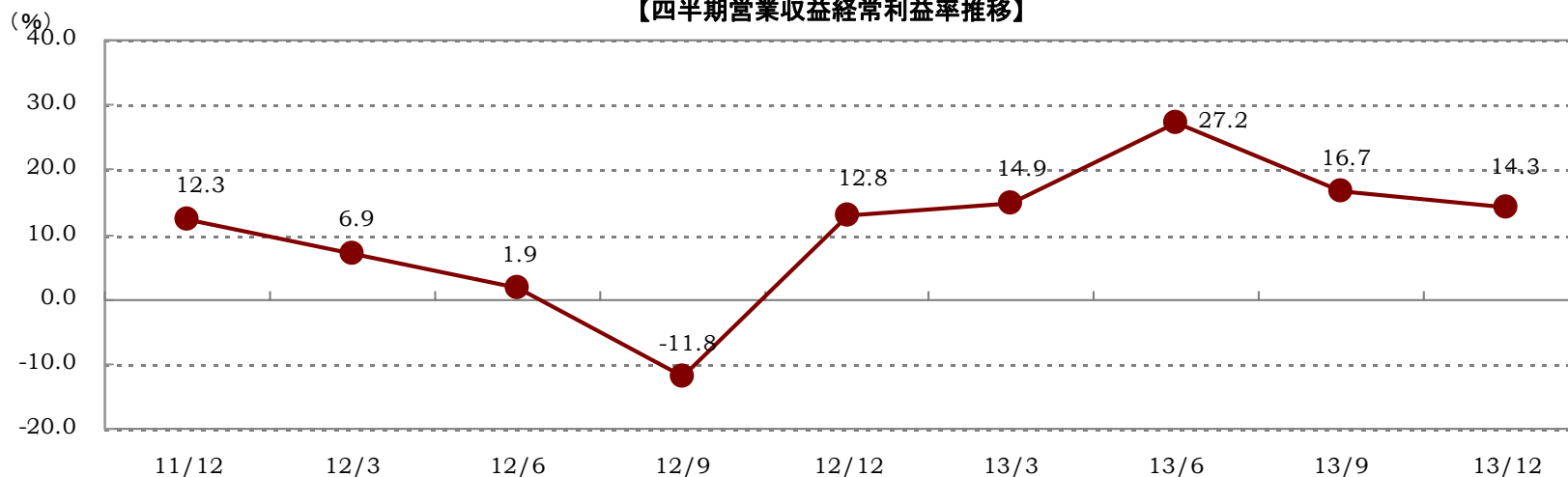
## ■ ROE及び営業収益経常利益率推移

### 【四半期ROE推移】



※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

### 【四半期営業収益経常利益率推移】



## Ⅱ .2014年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況





# 2014年3月期の重点施策

Money Partners Group

## 重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

取引当たり  
収益性



ブランディング

## 重点施策

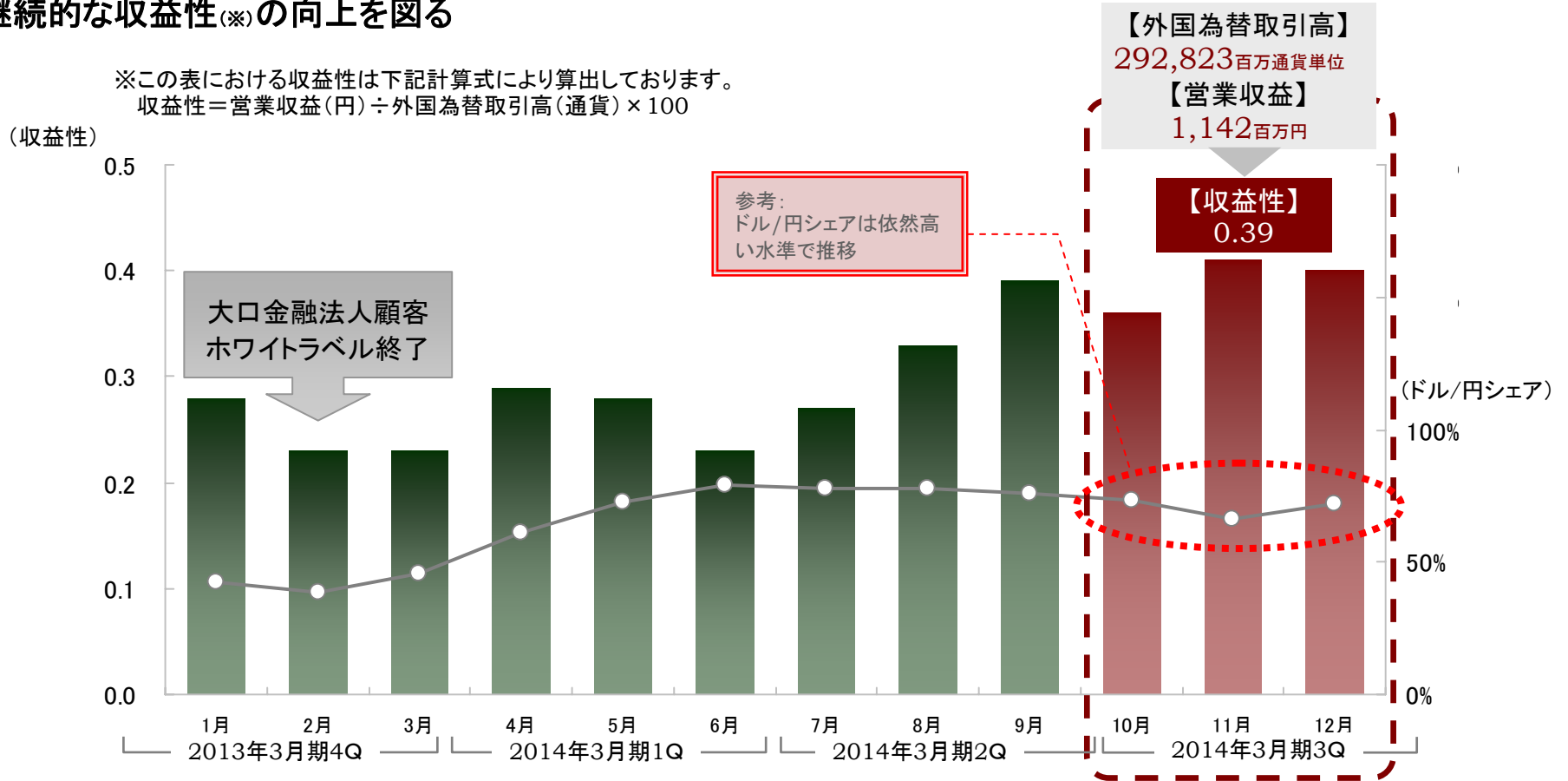
- ・新基幹システムの本格稼動に伴うカバー手法のブラッシュアップ

- ・マス向けメディア展開、商品展開によるライトユーザーの取込
- ・ツール平易化、取引サポート中心の機能改善によるビギナー層獲得

## 基幹システム刷新による収益性改善

- ◆ 約定系、顧客系システムの更なるチューニング及びカバー取引手法の改善等によって継続的な収益性(※)の向上を図る

※この表における収益性は下記計算式により算出しております。  
 収益性 = 営業収益(円) ÷ 外国為替取引高(通貨) × 100



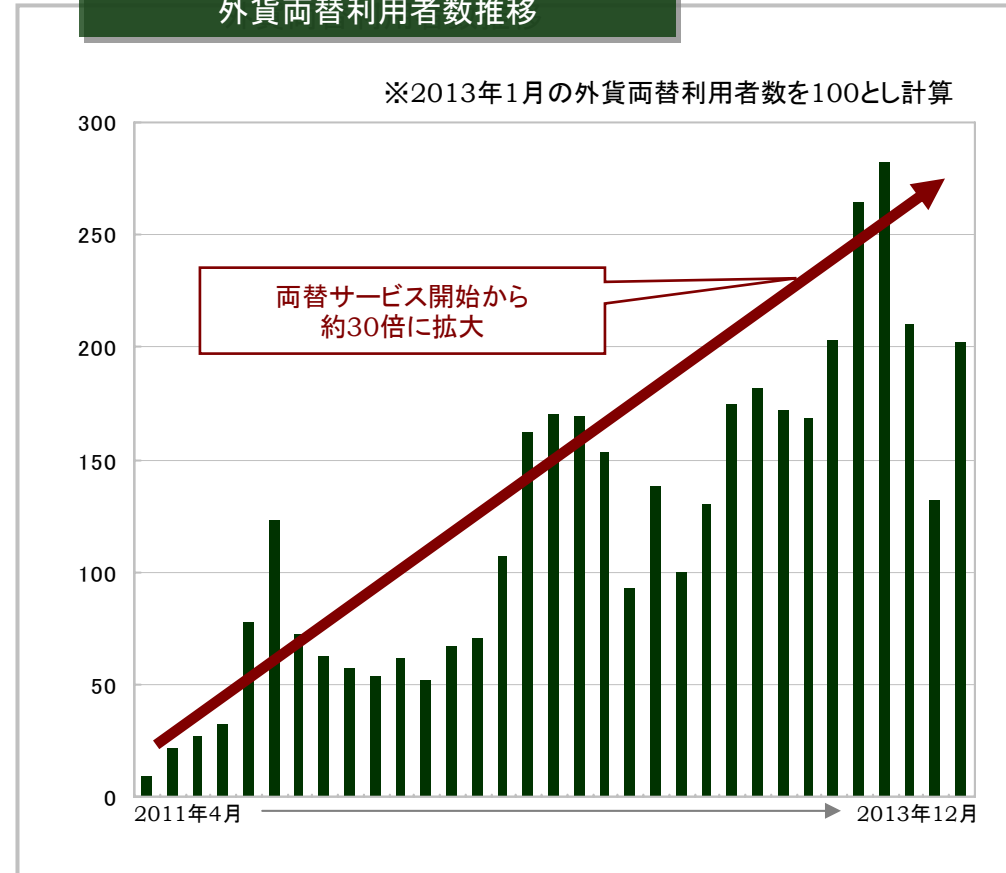
低スプレッド通貨の取引高割合の増加にも関わらず取引高当たり収益性は高い水準を維持

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

### ◆ 受取拠点の追加により利用者数増加

#### 空港での顧客認知

#### 外貨両替利用者数推移



裾野の広い外国為替取引初心者層・実需層からの顧客獲得導線を構築



# 重点施策の進捗状況

Money Partners Group

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

◆ ビギナー層向け施策に注力した新しい「nano」、商品性を改良し取引顧客が増加

### 商品性の改良

**100 nano 100円からはじめるFX**

うれしい低スプレッド **0.3** ドル/円 銭 ※例外あり

手数料いろいろ、まとめて **0** 円

- 口座開設手数料
- 口座維持手数料
- 取引手数料
- 入出金手数料

口座開設で **5,000円** キャッシュバック!

iOS / Android対応 取引アプリ  
スマートフォンでもFX!

主要経済指標発表直後の急変動、国内外の休日や平日早朝など新しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。必要証拠金は各通貨ペアのレートにより変動します。

● スプレッドの更なるナロー化 ● スワップ最高水準

● 取引ツールとの連動

PartnersFX  
『クイック発注ボード』

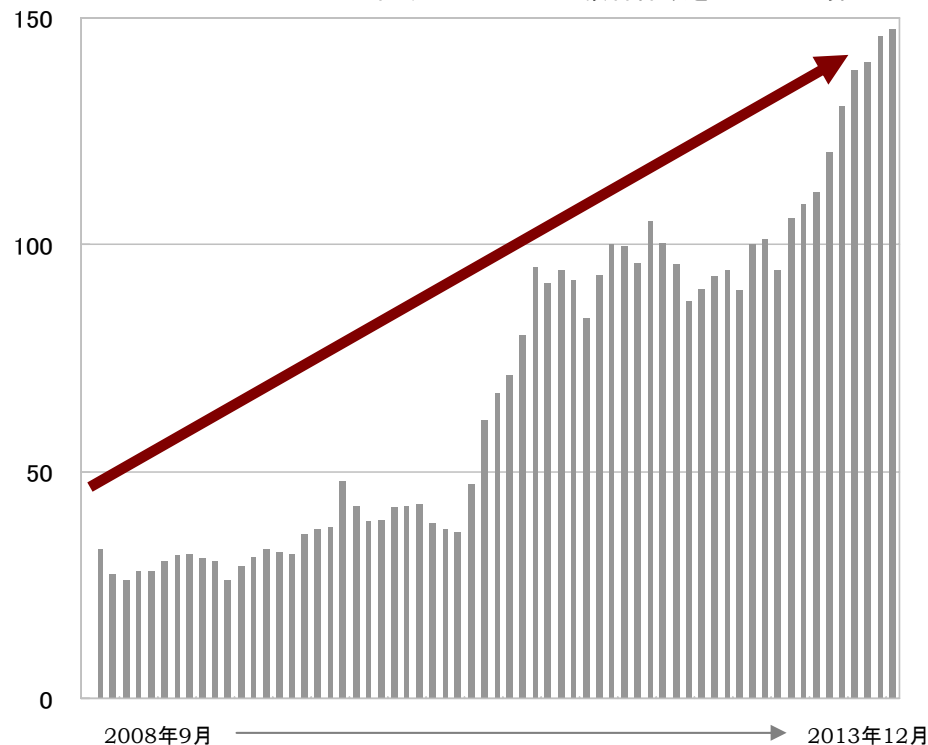


HYPER SPEED Touch  
『HyperSpeedTouch』



### nano取引顧客数推移

※2013年1月のnano取引顧客件数を100として算出

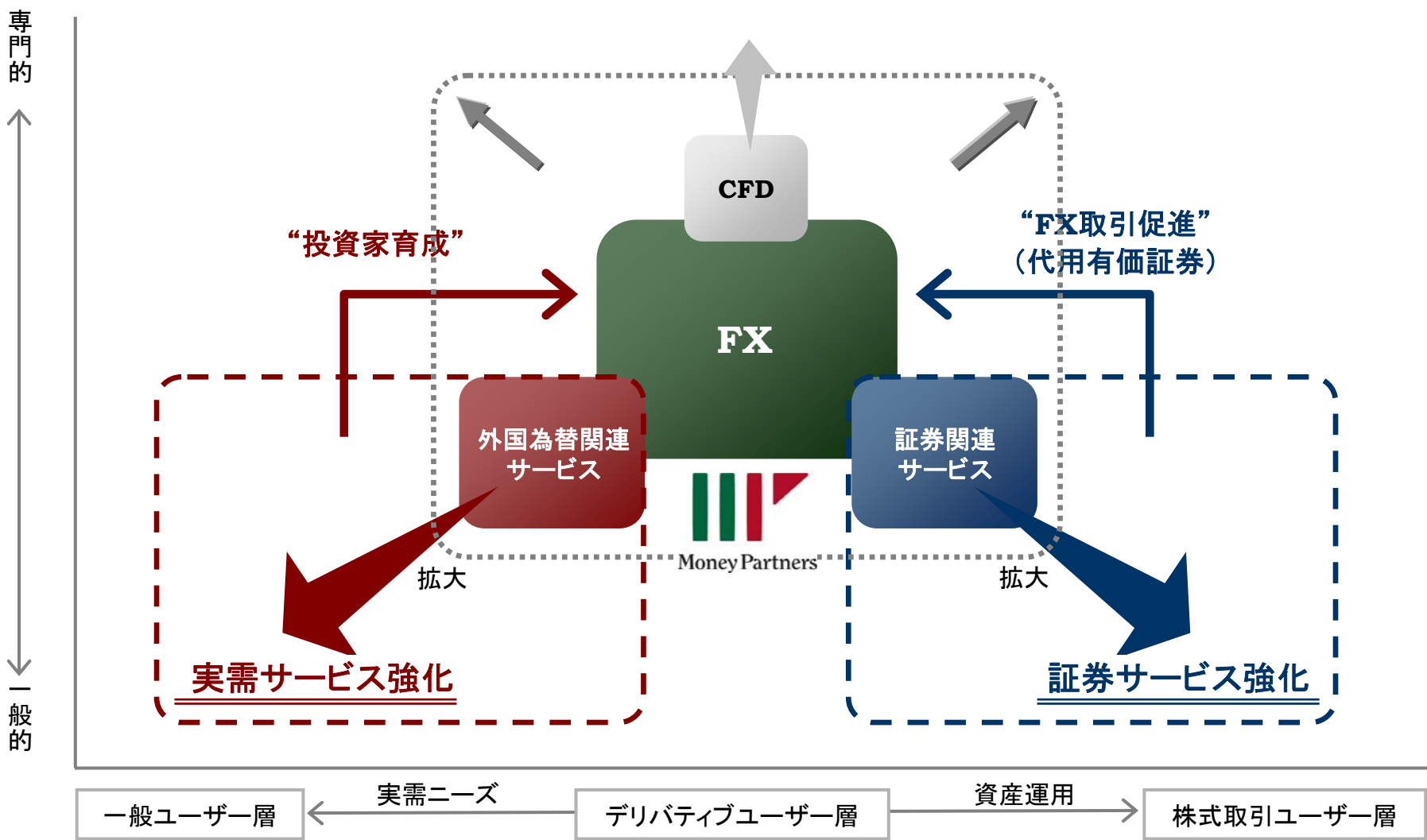


FX取引の増強策として一般化路線の定着を図るため、nanoの施策を展開

### Ⅲ. 今後の目指すべき方向性







実需サービス・証券サービスの強化拡大を通してコア事業であるFX事業の成長を実現する

## IV. 当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2014年3月期第3四半期(2013年10～12月)のROEは3.8%**

※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2014年3月期第3四半期(2013年10～12月)の営業収益経常利益率は14.3%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE及び営業収益経常利益率の向上を目指して参ります。



## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**(年2回)

		2013年3月期				2014年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 累計期間(百万円)		16	△151	△28	95	247	366	<b>463</b>	—
配当金の総額 (百万円)		0 ※1		30		90		—	
期末発行済 株式総数(株)		321,480 (内、自己株式20,023)				322,110 (内、自己株式20,023)		32,214,000 ※2 (内、自己株式2,002,300)	
1株当たり 配当金	中間・期末	0円 ※1		100円		300円		—	
	年間	100円				—			

※1 2013年3月期の中間配当金につきましては、無配とさせていただきます。

※2 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.625%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

# 2014年3月期第3四半期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社 マネーパートナーズグループ